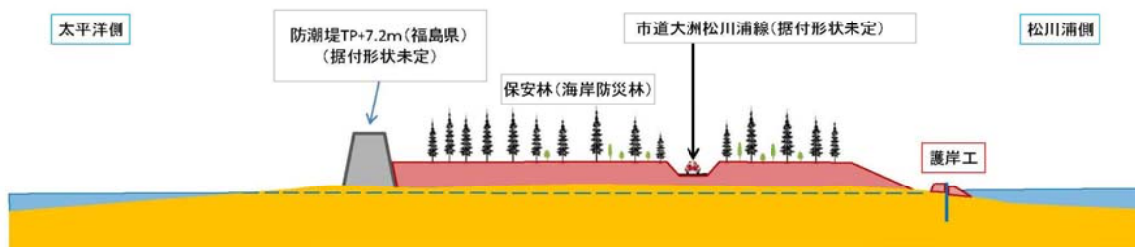




盛土が完成した状況(今後、植栽を予定)

るところです。
 ダンプで搬入してきた山砂を重機で敷き均すという作業を繰返して、地下水位より3mほど高い箇所まで盛土を実施しています。
 大洲国有林付近では、被災した防潮堤の復旧工事や民有林の海岸防炎林造成工事が実施されており、関係機関との連絡調整を密に行いながら進めています。
 また、近隣の道路整備や災害公営住宅も完成するなど、他事業の復旧も着実に前進しています。
 当署としても早期の海岸防炎林の復旧・再生を目指し事業を進めてまいります。

海岸防炎林復旧による将来イメージ



完成イメージ図

赤谷センターでは、みなかみ町の廃校(旧猿ヶ京小学校)活用プロジェクトを行っている「(社)猿ヶ京小学校スポーツアカデミー」から子供も大人も気軽に楽しめる環境教育教材の開発を相談され、カエデの種をヒントに「空飛ぶタネの模型(名称…ロケットリーフ)」を開発しました。
 これは、森林文化を伝え、緑化運動の啓蒙を通じて地域振興等にも寄与できるものと考えています。

ロケットリーフの開発

赤谷森林ふれあい推進センター(以下、赤谷センター)は、群馬県北部と新潟県との県境に広がる国有林野を対象に生物多様性の復元と持続的な地域づくりの推進を行っています。
 また、地元NPOに対しても森林環境教育等に関する技術的な支援も行っています。
 今回は、その取り組みを紹介いたします。

「ロケットリーフ」の様々な活用
 ～大空高くロケットリーフで支援のWA～



間伐・間伐材利用等の推進のPR
 平成25年5月1日ロケットリーフは、間伐材マーク事務局より間伐材マークの認定を受けたことから、ロケットリーフを通じて、間伐材の普及啓発及び間伐材の利用促進もPRできます。



ロケットリーフキット

開発にあたっては、アイテムの形状・コストはもとより、体験プログラムや普及方法等についても、アイデアを出し合いました。



間伐マーク

認証番号 K1303301

地域振興への寄与

ロケットトリーフは、県産のスギ、ヒノキ間伐材を使用し(社)猿ヶ京小学校スポーツアカデミーで製作していることから地域振興アイテムとしても期待できます。

また、袋詰め作業を沼田市に所在する障害者就業・生活支援センターに委託し、障害者の就労支援を行っています。

環境教育

森林教室等のプログラムに種子の話を組み込み、プログラムの最後を盛り上げるためにロケットトリーフの対空時間を競う大会を行ったり、昼食後の遊びとして活用するなどプログ



ロケットトリーフ大会

ラムのメインにも、時間調整にも使える便利なアイテムです。

イベント

イベントの時には、ブースにお客様を呼び込むためのキャッチ用のアイテムが重要となります。

ロケットトリーフをブース前で飛ばすと、空高く舞うことから自然と目につき、また、短時間で作成できることなどから、イベント時の集客に最適です。



敷島公園祭り

また、みなかみ町では、抽選会にロケットトリーフに賞品番号を記入し、会場へ向けて飛ばすといった使い方もしています。

担当者によると、抽選の賞品よりロケットトリーフの問い合わせの方が多いためです。

また、みなかみ町新治地区の情報発信基地である道の駅「たくみの里」では、短時間で楽しめるプログラムとして、ロケットトリーフを活用しています。

自然林復元試験地

赤谷プロジェクトでは、植栽に頼らずに自然林に復元するための試験地を設定しています。

ここでは、赤谷プロジェクトを見学に来ていただいた方にロケットトリーフを使って種子が風に乗って飛んでくる様子をイメージしていただいています。



韓国からの視察

の一部を森林整備に役立てていただくために、国土緑化推進機構が実施する「緑の募金」へ寄付することとしています。

今後の取組

ロケットトリーフは、老若男女を問わず誰れもが一緒に楽しめる様々な可能性をもったアイテムです。

間伐材マークの認定を受けたことで、取り組みの意義がより深まり環境教育のプログラムも幅が広がりました。

このアイテムをみなかみ町発！全区区へと普及させることで、森林・林業はもとより、地域振興にも寄与できると考えています。

新たなNPO等への技術・支援のあり方として、参考になればと思います。

ぜひ！ロケットトリーフで様々な支援のWA！を広げましょう。

幹部の紹介

10月1日付け()は前職

関東森林管理局課長等

▽赤谷森林ふれあい推進センター所長 藤澤 将志

(林野庁林政部経営課経営対策官)

緑の募金

(社)猿ヶ京小学校スポーツアカデミーでは、ロケットトリーフの売上